

学校における「学力向上に係る効果的事例」

【幸手市教育委員会】

【学力向上に向けての取組】

- ① 教科における授業規律の確立
 - ・自己の向上における目標をつくり、各クラスで掲示する。
 - ・チャイム着席、授業中の姿勢、忘れ物無し等の呼びかけを行う。
 - ・授業毎に各クラスで授業評価を行い、次の授業に生かす。
- ② 年間1人1回の研究授業
 - ・全教員が年間1人1回の研究授業を行う。
 - ・指導者を招いて研修を行い、指導力向上に努める。
- ③ 「教育に関する3つの達成目標」効果の検証、埼玉県小・中学校学習状況調査、全国学力・学習状況調査の過去問挑戦
 - ・検証及び調査に対する緊張感を取り除き、問題に慣れさせるために直前に過去問に挑戦させる。
 - ・「教育に関する3つの達成目標」効果の検証に関しては基礎的な課題を冬休みの宿題として出し、学習の習慣を付けさせるとともに、基礎学力の定着を図る。
- ④ 休み明けのテスト実施 漢字、計算、スペリングコンテストの実施
 - ・合格点8割を目標とし、達成者が90%以上を目指す。
 - ・達成者については、学年だより、掲示等で発表賞賛する。
 - ・不合格者については再テストを実施し、学力向上を図る。
- ⑤ 生活記録ノートでの生活習慣チェック・賞賛と励まし
 - ・定期テストでの家庭学習の計画と実施の確認をする。
 - ・各教科適切な課題を提示し、賞賛、励まし、評価を行い学力の定着を図る。
 - ・家庭学習が身につくように保護者との連携を図る。
- ⑥ 授業ノートの充実
 - ・国・数・英・社・理の授業のノートのより良い取り方を奨励する。
 - ・自主学習も取り入れた自分のノートづくりを定着させる。
 - ・学期末に評価、奨励する。
- ⑦ サマースクールの実施
 - ・夏休み7月中の4日間、国・数・英の3教科で実施する。
 - ・生徒は希望生とし、全職員で分担する。